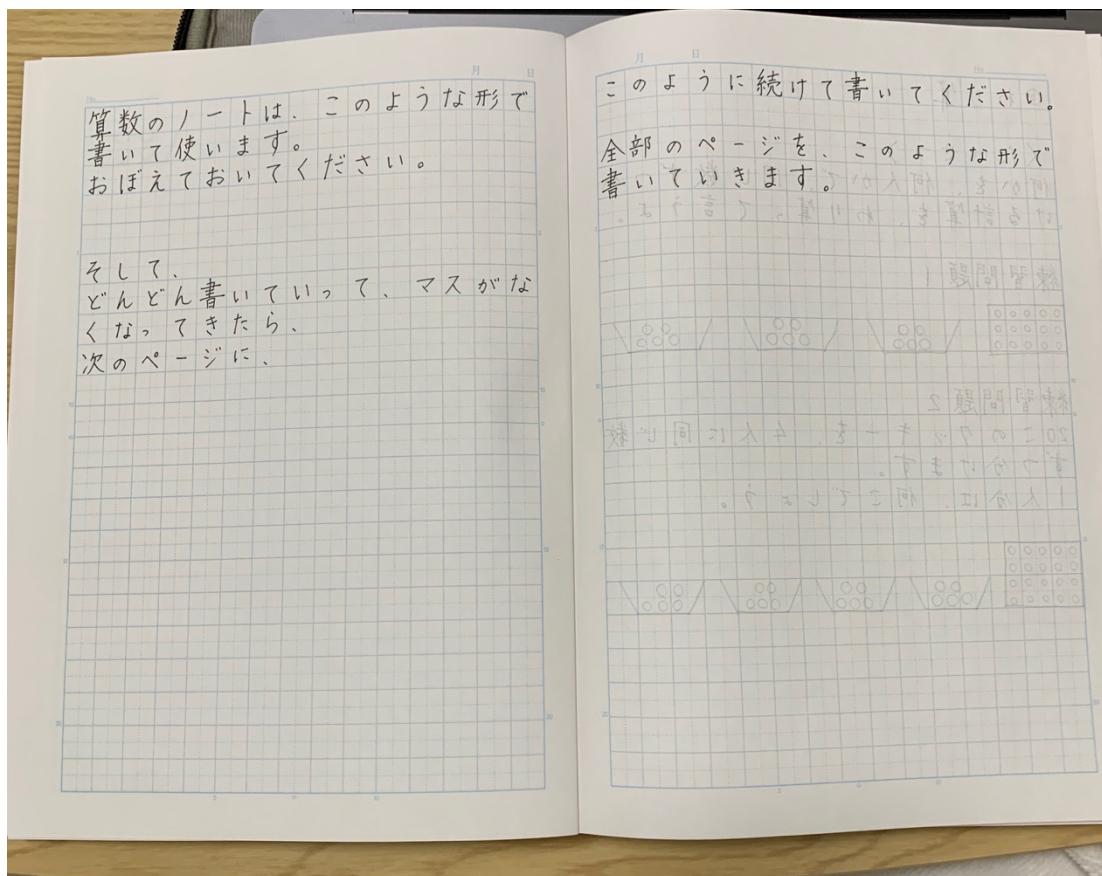


# 3年生 算数

第1回 5月12日

## 学習の進め方

- 1 ノートを用意する。教科書は使いません。
- 2 「進め方ワーク」を読みながら、学習を進めていく。
- 3 ノートは写真のように、使っていく。



## 算数第1回 進め方ワーク

1 今から第1回算数の学習をはじめます。よろしくお願ひします。

2 次のイラストを見ましょう。



どうやら、いちごを3人の子供たちで分けるみたいですね。

いちごは何個ありますか？数えましょう。

そうですね。

12個です。

さあ、みなさんなら、この12個のいちごを、どうやって分けますか？

この子供たちは、こんな風に分けたみたいですね。



今、この3人は、どんなことを言ってると思いますか？よそうしてみて。

「ちょっと、ぼくのいちご少ないよ！」

「あ、きみのいちごが多いよ！」

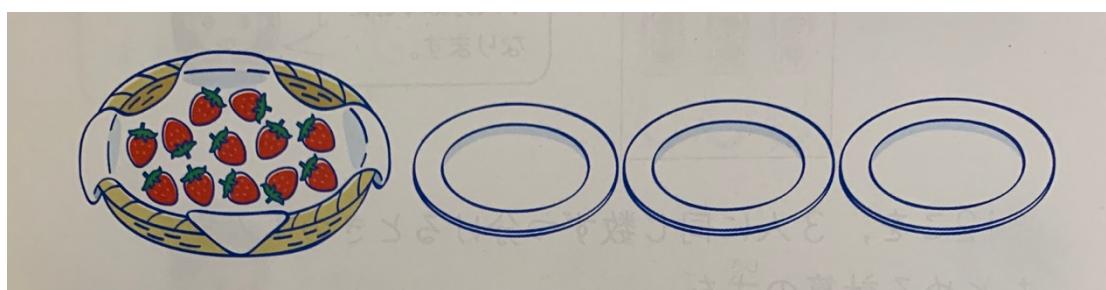
「ずるいよ！」

こんな会話が聞こえてきそうですね。

さて、では、このいちごを、**3人で同じ数ずつ分けるには、**

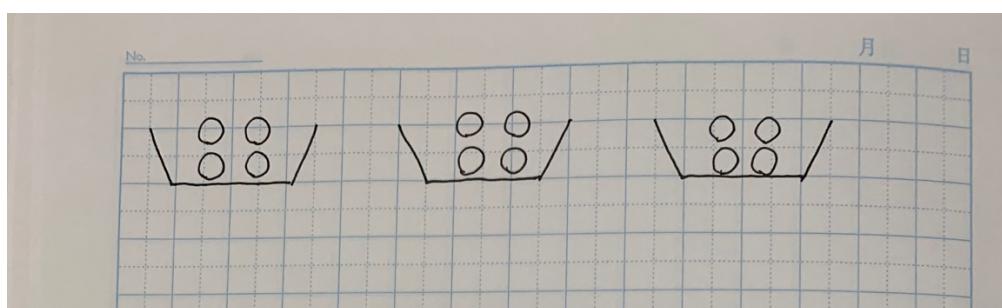
**一人分は、何個になるんだろう？**

ちょっと考えてみましょう。



できましたか？

そうですよね。



4個ずつ分ければ、3人とも同じ数ずつになるね！

こんな風に、何かを**みんなで同じ数ずつ分けっこする時**って、ふだんからよくあるでしょ？

これね、実は、算数の世界の言葉で、有名な名前がついてるの。

こんな風に、何かを、同じ数ずつ分ける計算を、

わり算（わりざん）って言うんだ。

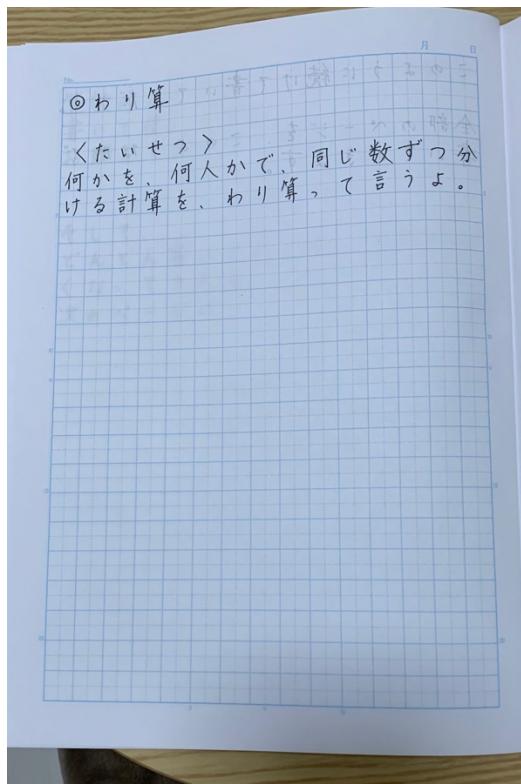
聞いたことある人も多いんじゃない？「わり算」って言葉。

大事だから、もう一回言うね。

何かを、何人かで、同じ数ずつ分ける計算を、わり算って言うよ。

ノートを開いて、

次の写真のように、写しましょう。



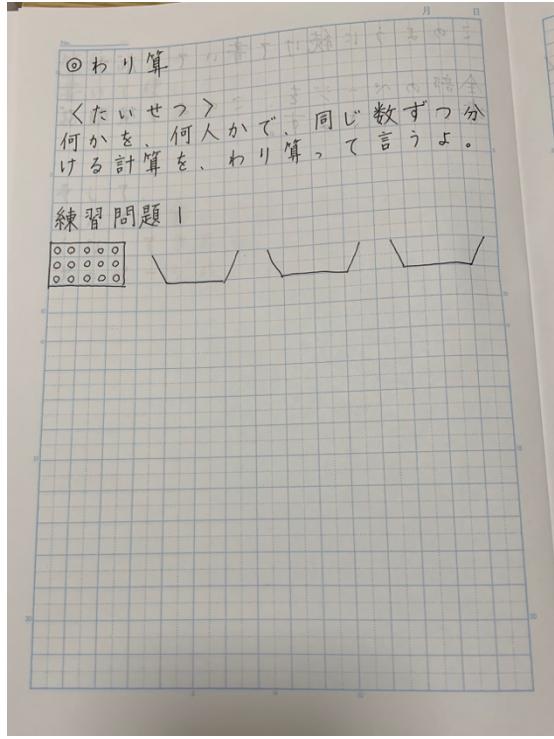
じゃあ、ちょっとわり算の練習問題に挑戦してみようか。

### 練習問題 1

あめ玉が 15 個あります。3 人で同じ数ずつ分けます。

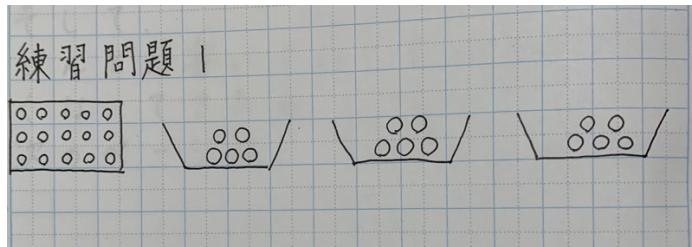
一人分は何個になるでしょう？

次のようにノートに写して、考えましょう。



アイデアは出たかな？

そう、答えは、5個ずつだよね。

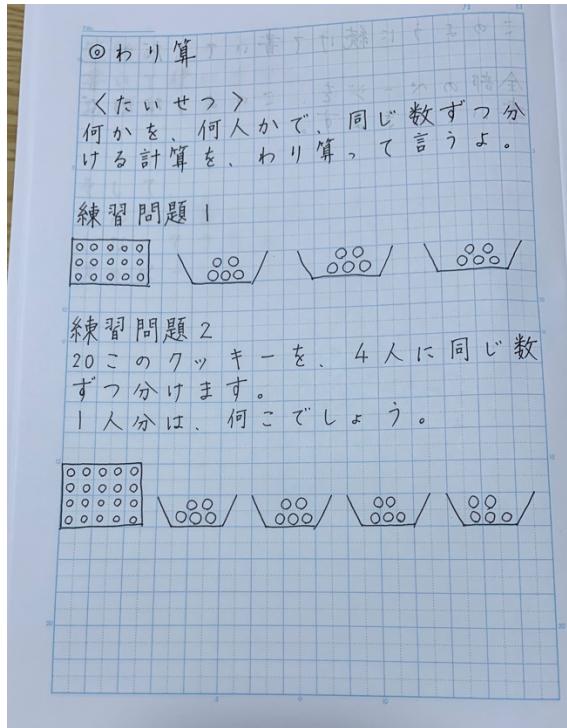


じゃあ、練習問題2に挑戦だ！

練習問題2

20個のクッキーを、4人に同じ数ずつ分けます。一人分は何個でしょう？

さあ、ノートにこの問題を書いて、考えてみよう。



答えは、5個ずつだね。

### 3 今日の学習はここまで。

今日は、みんなが、ふだん、よくやってる、

何かを同じ数ずつ分ける計算に、「わり算」ってせんもん用語がついていたってことを学習しました。

今までも、みんなは、学校では習ってなかったけど、  
「わり算」をふだんからしぜんにやっていたんだね！

次回は、「わり算」をもっと詳しく学習していくね。

### 4 今回の宿題

①わり算の意味を、お家の人に紹介する。

それでは、第1回算数の学習を終わります。

ありがとうございました。